

研究科名	専攻名	博士課程				修士課程	
		前期課程		後期課程		入学定員	収容定員
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員		
法学研究科	公法専攻	八	一六	三	九		
	民法専攻	二〇	四〇	七	二一		
	刑事法専攻	一〇	二〇	五	一五		
	国際企業関係法専攻	二〇	四〇	一〇	三〇		
	政治学専攻計	一五	三〇	三	九		
		七三	一四六	二八	八四		
経済学研究科	経済学専攻計	五〇	一〇〇	一〇	三〇		
		五〇	一〇〇	一〇	三〇		
商学研究科	商学専攻計	二五	五〇	五	一五		
		二五	五〇	五	一五		
理工学研究科	数学専攻	二五	五〇	三	九		
	物理学専攻	二五	五〇	三	九		
	都市人間環境学専攻	六〇	一二〇	五	一五		
	精密工学専攻	五二	一〇四	三	九		
	電気電子情報通信工学専攻	四五	九〇	—	—		
	応用化学専攻	四五	九〇	三	九		
	ビジネスデータサイエンス専攻	三〇	六〇	三	九		
	情報工学専攻	四〇	八〇	—	—		
	生命科学専攻	二五	五〇	二	六		
	電気・情報系専攻計			七	二一		
		三四七	六九四	二九	八七		
文学研究科	国文学専攻	一〇	二〇	五	一五		
	英文学専攻	一〇	二〇	五	一五		
	独文学専攻	五	一〇	三	九		
	仏文学専攻	五	一〇	三	九		
	中国言語文化専攻	五	一〇	三	九		
	日本史学専攻	七	一四	五	一五		
	東洋史学専攻	五	一〇	三	九		
	西洋史学専攻	五	一〇	三	九		
	哲学専攻	五	一〇	三	九		
	社会学専攻	五	一〇	三	九		
	社会情報学専攻	五	一〇	三	九		
	教育学専攻	五	一〇	三	九		
	心理学専攻	八	一六	四	一二		
		八〇	一六〇	四六	一三八		
総合政策研究科	総合政策専攻計	四〇	八〇	一〇	三〇		
		四〇	八〇	一〇	三〇		
国際情報研究科	国際情報専攻計					二五	五〇
						二五	五〇
	合計	六一五	一、二三〇	一二八	三八四	二五	五〇

収容定員合計 一、六六四 人

（注） 専攻名の欄の専攻は、博士課程の専攻として置く。ただし、国際情報専攻は、修士課程として置く。

別表第二（第三十四条第一項関係）

研 究 科	課 程	必要単位数
法 学 研 究 科	博士課程前期課程	三二
経 済 学 研 究 科	博士課程前期課程	三二または四〇
商 学 研 究 科	博士課程前期課程	三二
理 工 学 研 究 科	博士課程前期課程	三〇
文 学 研 究 科	博士課程前期課程	三二
総合政策研究科	博士課程前期課程	三〇
国際情報研究科	修 士 課 程	三〇または四〇

(注) 1 経済学研究科博士課程前期課程

研究科の定めるところにより、修士論文の審査を受ける者にあつては三十二単位、特定の課題についての研究の成果の審査を受ける者にあつては、四十単位修得すること。

2 理工学研究科博士課程前期課程

論文研修第一及び論文研修第二（論文研修第一、論文研修第二、論文研修第三及び論文研修第四を設置する専攻においては、当該論文研修四科目）を含めて三十単位を修得すること。ただし、優れた研究業績を上げて早期に修了する場合は、論文研修第一（論文研修第一、論文研修第二、論文研修第三及び論文研修第四を設置する専攻においては、論文研修第一及び論文研修第二）を含めて三十単位修得すること。

3 国際情報研究科修士課程

研究科の定めるところにより、修士論文の審査を受ける者にあつては三十単位、特定の課題についての研究の成果の審査を受ける者にあつては、四十単位修得すること。

別表第二の二（第三十四条第二項関係）

研 究 科	課 程	必要単位数
法 学 研 究 科	博士課程後期課程	一二
経 済 学 研 究 科	博士課程後期課程	六
商 学 研 究 科	博士課程後期課程	一四
理 工 学 研 究 科	博士課程後期課程	一五
文 学 研 究 科	博士課程後期課程	一六
総合政策研究科	博士課程後期課程	八

(注) 理工学研究科博士課程後期課程

特論、特殊論文研修Ⅰ（一年次）、特殊論文研修Ⅱ（一年次）、特殊論文研修Ⅲ（二年次）、特殊論文研修Ⅳ（二年次）、特殊論文研修Ⅴ（三年次）及び特殊論文研修Ⅵ（三年次）の七科目十四単位及び共通科目設置の必修科目の一科目一単位を修得すること。ただし、優れた研究業績を上げて早期に修了する場合は、以下のとおりとする。

二年半で修了する者は十三単位（特論、特殊論文研修Ⅰ～Ⅴ及び共通科目設置の必修科目）、
 二年で修了する者は十一単位（特論、特殊論文研修Ⅰ～Ⅳ及び共通科目設置の必修科目）、
 一年半で修了する者は九単位（特論、特殊論文研修Ⅰ～Ⅲ及び共通科目設置の必修科目）、
 一年で修了する者は七単位（特論、特殊論文研修Ⅰ～Ⅱ及び共通科目設置の必修科目）、
 を修得すること。

別表第三（第三十四条第三項関係）

第一 法学研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数

研究基礎科目

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
研究倫理・研究方法論	二
アカデミック・ライティング	二
リサーチ・リテラシー	二

共通科目

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
外国語文献講読	二
専門導入A	二
専門導入B	二
日本法リーガルリサーチ	二
社会科学基礎理論1	二
社会科学基礎理論2	二
法哲学1	二
法哲学2	二
法史学1	二
法史学2	二
比較法学1	二
比較法学2	二
比較体制論1	二
比較体制論2	二
法社会学1	二
法社会学2	二
情報法1	二
情報法2	二
外国法研究1	二
外国法研究2	二
法思想史研究1	二
法思想史研究2	二
古典研究1	二
古典研究2	二
特殊講義	二
総合特講	二

公法専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
憲法特講 1	二	
憲法特講 2	二	
憲法演習 1		二
憲法演習 2		二
行政法特講 1	二	
行政法特講 2	二	
行政法演習 1		二
行政法演習 2		二
租税法特講 1	二	
租税法特講 2	二	
租税法演習 1		二
租税法演習 2		二
国際公法特講 1	二	
国際公法特講 2	二	
国際公法演習 1		二
国際公法演習 2		二
公法特殊研究 1	二	
公法特殊研究 2	二	
研究特論 1		二
研究特論 2		二

民事法専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
民法特講 1	二	
民法特講 2	二	
民法演習 1		二
民法演習 2		二
商法特講 1	二	
商法特講 2	二	
商法演習 1		二
商法演習 2		二
経済法特講 1	二	
経済法特講 2	二	
経済法演習 1		二
経済法演習 2		二
民事訴訟法特講 1	二	
民事訴訟法特講 2	二	
民事訴訟法演習 1		二
民事訴訟法演習 2		二
労働法特講 1	二	
労働法特講 2	二	
労働法演習 1		二
労働法演習 2		二
社会保障法特講 1	二	
社会保障法特講 2	二	
社会保障法演習 1		二
社会保障法演習 2		二
民事法特殊研究 1	二	
民事法特殊研究 2	二	
研究特論 1		二
研究特論 2		二

刑事法専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
刑法特講 1	二	
刑法特講 2	二	
刑法演習 1		二
刑法演習 2		二
刑事訴訟法特講 1	二	
刑事訴訟法特講 2	二	
刑事訴訟法演習 1		二
刑事訴訟法演習 2		二
刑事政策特講 1	二	
刑事政策特講 2	二	
刑事政策演習 1		二
刑事政策演習 2		二
犯罪学特講 1	二	
犯罪学特講 2	二	
犯罪学演習 1		二
犯罪学演習 2		二
刑事法特殊研究 1	二	
刑事法特殊研究 2	二	
研究特論 1		二
研究特論 2		二

国際企業関係法専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
比較企業法 1	二	
比較企業法 2	二	
経済法 1	二	
経済法 2	二	
知的財産法 1	二	
知的財産法 2	二	
国際私法 1	二	
国際私法 2	二	
国際取引法 1	二	
国際取引法 2	二	
国際経済法 1	二	
国際経済法 2	二	
国際関係法 1	二	
国際関係法 2	二	
アメリカ私法 1	二	
アメリカ私法 2	二	
アメリカ公法 1	二	
アメリカ公法 2	二	
現代国際経済論 1	二	
現代国際経済論 2	二	
国際金融為替論 1	二	
国際金融為替論 2	二	
国際企業法務論	二	
国際取引法事例研究	二	
知的財産法事例研究	二	
国際経済法事例研究	二	
国際紛争解決法	二	
現代日本外交論	二	
現代国際関係論	二	
英米契約法	二	
英米財産法	二	
情報法	二	
比較捜査法	二	
金融政策の現代的課題	二	
国際企業論	二	
国際企業財務論	二	
国際企業会計論	二	
Japanese Law 1	二	
Japanese Law 2	二	
Japanese & American Legal Systems 1	二	
Japanese & American Legal Systems 2	二	

Japanese & European Legal Systems 1	二	
Japanese & European Legal Systems 2	二	
Japanese & Islamic Legal Systems 1	二	
Japanese & Islamic Legal Systems 2	二	
Legal Research	二	
研究特論 1		二
研究特論 2		二

政治学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
政治学特講 1	二	
政治学特講 2	二	
政治学演習 1		二
政治学演習 2		二
政治思想史特講 1	二	
政治思想史特講 2	二	
政治思想史演習 1		二
政治思想史演習 2		二
政治史特講 1	二	
政治史特講 2	二	
政治史演習 1		二
政治史演習 2		二
行政学特講 1	二	
行政学特講 2	二	
行政学演習 1		二
行政学演習 2		二
地域政治論特講 1	二	
地域政治論特講 2	二	
地域政治論演習 1		二
地域政治論演習 2		二
国際政治学特講 1	二	
国際政治学特講 2	二	
国際政治学演習 1		二
国際政治学演習 2		二
アメリカ政治特講 1	二	
アメリカ政治特講 2	二	
アメリカ政治演習 1		二
アメリカ政治演習 2		二
中国政治特講 1	二	
中国政治特講 2	二	
中国政治演習 1		二
中国政治演習 2		二
国際政治史特講 1	二	
国際政治史特講 2	二	
国際政治史演習 1		二
国際政治史演習 2		二
政治社会学特講 1	二	
政治社会学特講 2	二	
政治社会学演習 1		二
政治社会学演習 2		二
コミュニケーション論特講 1	二	

コミュニケーション論特講 2	二	
コミュニケーション論演習 1		二
コミュニケーション論演習 2		二
政治経済学特講 1	二	
政治経済学特講 2	二	
政治経済学演習 1		二
政治経済学演習 2		二
比較政治学特講 1	二	
比較政治学特講 2	二	
比較政治学演習 1		二
比較政治学演習 2		二
社会思想史特講 1	二	
社会思想史特講 2	二	
社会思想史演習 1		二
社会思想史演習 2		二
政治学特殊研究 1	二	
政治学特殊研究 2	二	
研究特論 1		二
研究特論 2		二

二 履修及び研究方法

- ア 各専攻の修了に必要な単位数三十二単位を研究基礎科目、共通科目及び各専攻の授業科目の中から選択履修しなければならない。ただし、修了に必要な単位数三十二単位のうち、十単位については、他専攻若しくは他研究科の授業科目の中から選択履修することができる。
- イ 研究倫理・研究方法論（二単位）を履修しなければならない。ただし、ダブル・ディグリー受入生については任意とする。
- ウ 他専攻の授業科目を履修する場合においては、その授業科目の担当教員の承認を、他研究科の授業科目を履修する場合においては、その授業科目の担当教員及び関係のある研究科委員長の許可を受けなければならない。
- エ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。
- オ 同一教員による同一名称の授業科目であってもその実質的内容が異なる場合には、二ケ年に限って履修することができる。
- カ 修士論文の作成に当たっては、研究指導を受けなければならない。

第二 法学研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数

研究論科目

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
研究指導論	二
研究報告論 1	一
研究報告論 2	一

公法専攻・民事法専攻・刑事法専攻・国際企業関係法専攻・政治学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
特殊研究 1	二	
特殊研究 2	二	
特殊研究 3	二	
特殊研究 4	二	
特殊演習		二

二 研究及び履修方法

- ア 学生は、研究及び博士論文の作成について、指導教授の研究指導を受けなければならない。
- イ 一年次五月末日までに研究計画書を、二年次以降各年次四月末日までに研究状況報告書をそれぞれ指導教授を経て研究科委員会に提出しなければならない。
- ウ 前項イの規定にかかわらず、第十九条第一項ただし書の適用を受けた者については、一年次十月末日までに研究計画書を、二年次以降各年次九月末日までに研究状況報告書をそれぞれ指導教授を経て研究科委員会に提出しなければならない。
- エ 各専攻の修了に必要な単位数十二単位を研究論科目及び各専攻の授業科目の中から、選択履修しなければならない。
- オ 研究指導論（二単位）、研究報告論 1（一単位）、研究報告論 2（一単位）の三科目（四単位）を履修しなければならない。
- カ 指導教授の指導により、特殊研究 1（二単位）から特殊研究 4（二単位）までの授業科目の中から、三科目（六単位）以上を履修しなければならない。

第三 経済学研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数

経済学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
リサーチ・リテラシー	二	
マクロ経済学Ⅰ	二	
マクロ経済学Ⅱ	二	
ミクロ経済学Ⅰ	二	
ミクロ経済学Ⅱ	二	
計量経済分析Ⅰ	二	
計量経済分析Ⅱ	二	
統計学の基礎	二	
統計学の実践	二	
特定課題研究のためのマクロ経済学Ⅰ	二	
特定課題研究のためのマクロ経済学Ⅱ	二	
特定課題研究のためのミクロ経済学Ⅰ	二	
特定課題研究のためのミクロ経済学Ⅱ	二	
ポリティカルエコノミーⅠ	二	
ポリティカルエコノミーⅡ	二	
ビジネス・データ分析Ⅰ	二	
ビジネス・データ分析Ⅱ	二	
ビジネス・エコノミクス	二	
経済史概論	二	
経済学史概論	二	
経済学実習	二	
応用ミクロ経済学Ⅰ	二	
応用ミクロ経済学Ⅱ	二	
マクロ動学Ⅰ	二	
マクロ動学Ⅱ	二	
ミクロ動学Ⅰ	二	
ミクロ動学Ⅱ	二	
生態経済学Ⅰ	二	
生態経済学Ⅱ	二	
資本論体系Ⅰ	二	
資本論体系Ⅱ	二	
経済システム論Ⅰ	二	
経済システム論Ⅱ	二	
現代資本蓄積論Ⅰ	二	
現代資本蓄積論Ⅱ	二	
経済学説史Ⅰ	二	
経済学説史Ⅱ	二	
社会思想史Ⅰ	二	
社会思想史Ⅱ	二	

貨幣信用論 I	二	
貨幣信用論 II	二	
ヨーロッパ経済史 I	二	
ヨーロッパ経済史 II	二	
日本経済史 I	二	
日本経済史 II	二	
計量経済学 I	二	
計量経済学 II	二	
統計解析論 I	二	
統計解析論 II	二	
構造統計分析 I	二	
構造統計分析 II	二	
経済統計論 I	二	
経済統計論 II	二	
社会政策論 I	二	
社会政策論 II	二	
社会保障論 I	二	
社会保障論 II	二	
マクロ会計論 I	二	
マクロ会計論 II	二	
会計システム論 I	二	
会計システム論 II	二	
企業会計論 I	二	
企業会計論 II	二	
数理経済学	二	
社会福祉論	二	
ジェンダーと労働	二	
国際開発論 I	二	
国際開発論 II	二	
経済発展論 I	二	
経済発展論 II	二	
国際貿易・政策論 I	二	
国際貿易・政策論 II	二	
人口政策論 I	二	
人口政策論 II	二	
労働市場分析 I	二	
労働市場分析 II	二	
金融論 I	二	
金融論 II	二	
国際金融論 I	二	
国際金融論 II	二	
国際金融の理論と現実 I	二	
国際金融の理論と現実 II	二	
開発金融論 I	二	

開発金融論Ⅱ	二	
経営学Ⅰ	二	
経営学Ⅱ	二	
企業財務論Ⅰ	二	
企業財務論Ⅱ	二	
外国為替論	二	
証券投資論	二	
金融工学	二	
国際経営戦略論	二	
国際マーケティング論	二	
国際会計論	二	
東南アジア経済論Ⅰ	二	
東南アジア経済論Ⅱ	二	
開発コンサルティング	二	
開発プロジェクト・マネジメント論	二	
NGOと社会開発	二	
International Economy in English	二	
公共経済学Ⅰ	二	
公共経済学Ⅱ	二	
公共政策Ⅰ	二	
公共政策Ⅱ	二	
グローバル・ガバナンス論Ⅰ	二	
グローバル・ガバナンス論Ⅱ	二	
経済政策Ⅰ	二	
経済政策Ⅱ	二	
都市行政学Ⅰ	二	
都市行政学Ⅱ	二	
財政学Ⅰ	二	
財政学Ⅱ	二	
地方財政論Ⅰ	二	
地方財政論Ⅱ	二	
公的金融システム論Ⅰ	二	
公的金融システム論Ⅱ	二	
租税論Ⅰ	二	
租税論Ⅱ	二	
インターネット経済論Ⅰ	二	
インターネット経済論Ⅱ	二	
経済立地論Ⅰ	二	
経済立地論Ⅱ	二	
地域政策論Ⅰ	二	
地域政策論Ⅱ	二	
地域農業政策論Ⅰ	二	
地域農業政策論Ⅱ	二	

交通政策論Ⅰ	二	
交通政策論Ⅱ	二	
中小企業論Ⅰ	二	
中小企業論Ⅱ	二	
産業組織論Ⅰ	二	
産業組織論Ⅱ	二	
環境経済学Ⅰ	二	
環境経済学Ⅱ	二	
環境会計論Ⅰ	二	
環境会計論Ⅱ	二	
都市と環境	二	
環境ガバナンスの研究	二	
公共ガバナンスの研究	二	
公共部門の経済分析	二	
費用便益分析	二	
地域モデル分析	二	
電子社会の法	二	
租税法Ⅰ	二	
租税法Ⅱ	二	
税法判例研究Ⅰ	二	
税法判例研究Ⅱ	二	
法人税法	二	
所得税法	二	
相続税法	二	
消費税法	二	
特殊講義	二	
演習Ⅰ		二
演習Ⅱ		二
演習Ⅲ		二
演習Ⅳ		二

二 研究及び履修方法

ア 授業科目は、指導教授の指導及び専攻の定めるところにより選択履修しなければならない。

イ 修了に必要な単位数三十二単位（修士論文の審査に代えて特定の課題についての研究の成果の審査を受ける者にあつては、四十単位）は、講義科目又は演習科目の中から選択履修しなければならない。

ウ 指導教授が必要と認めた場合は、前項イの規定にかかわらず、他研究科の授業科目の中から十二単位以内を選択履修することができる。他研究科の授業科目を履修する場合は、その授業科目の担当教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。

エ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。

オ 修士論文又は特定の課題についての研究の成果の作成に当たっては、研究指導を受けなければならない。

第四 経済学研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
特殊研究	四
リサーチ・ワークショップ	二

二 研究及び履修方法

ア 指導教授に博士論文作成の研究指導を受けなければならない。一年次五月末日までに研究計画書を、二年次以降各年次四月末日までに研究状況報告書をそれぞれ指導教授を経て研究科委員会に提出しなければならない。

イ 授業科目の中から、必要最低単位数六単位のうち、指導教授の指導により特殊研究一科目(四単位)を履修しなければならない。

第五 商学研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
経営学原理Ⅰ	二	
経営学原理Ⅱ	二	
企業論Ⅰ	二	
企業論Ⅱ	二	
技術経営研究Ⅰ	二	
技術経営研究Ⅱ	二	
財務管理研究Ⅰ	二	
財務管理研究Ⅱ	二	
生産管理研究Ⅰ	二	
生産管理研究Ⅱ	二	
マーケティング研究Ⅰ	二	
マーケティング研究Ⅱ	二	
人的資源管理研究Ⅰ	二	
人的資源管理研究Ⅱ	二	
情報経営論Ⅰ	二	
情報経営論Ⅱ	二	
経営史Ⅰ	二	
経営史Ⅱ	二	
国際経営研究Ⅰ	二	
国際経営研究Ⅱ	二	
ビジネス・エコノミクス研究Ⅰ	二	
ビジネス・エコノミクス研究Ⅱ	二	
経営戦略研究Ⅰ	二	
経営戦略研究Ⅱ	二	
経営組織研究Ⅰ	二	
経営組織研究Ⅱ	二	
経営管理研究Ⅰ	二	
経営管理研究Ⅱ	二	
製造・ロジスティクス研究Ⅰ	二	
製造・ロジスティクス研究Ⅱ	二	
ファイナンス研究Ⅰ	二	
ファイナンス研究Ⅱ	二	
ベンチャービジネス研究Ⅰ	二	
ベンチャービジネス研究Ⅱ	二	
イノベーション・マネジメント研究Ⅰ	二	
イノベーション・マネジメント研究Ⅱ	二	
アントレプレナーシップ研究Ⅰ	二	
アントレプレナーシップ研究Ⅱ	二	
会計学原理Ⅰ	二	
会計学原理Ⅱ	二	

制度会計論 I	二	
制度会計論 II	二	
実証会計研究 I	二	
実証会計研究 II	二	
管理会計論 I	二	
管理会計論 II	二	
業績管理会計 I	二	
業績管理会計 II	二	
原価計算論 I	二	
原価計算論 II	二	
会計情報システム論 I	二	
会計情報システム論 II	二	
監査論 I	二	
監査論 II	二	
税法判例研究 I	二	
税法判例研究 II	二	
国際税務論 I	二	
国際税務論 II	二	
国際会計論 I	二	
国際会計論 II	二	
財務分析論 I	二	
財務分析論 II	二	
財務会計論 I	二	
財務会計論 II	二	
商業経営論 I	二	
商業経営論 II	二	
マーケティング論 I	二	
マーケティング論 II	二	
グローバル・マーケティング論 I	二	
グローバル・マーケティング論 II	二	
消費者行動論 I	二	
消費者行動論 II	二	
流通論 I	二	
流通論 II	二	
流通チャネル論 I	二	
流通チャネル論 II	二	
商業史 I	二	
商業史 II	二	
貿易論 I	二	
貿易論 II	二	
貿易システム論 I	二	
貿易システム論 II	二	
マーケティング・コミュニケーション論 I	二	
マーケティング・コミュニケーション論 II	二	
マーケティング・データ分析 I	二	

マーケティング・データ分析Ⅱ	二	
製品開発論Ⅰ	二	
製品開発論Ⅱ	二	
中国・ロシア経済論Ⅰ	二	
中国・ロシア経済論Ⅱ	二	
アメリカ経済論Ⅰ	二	
アメリカ経済論Ⅱ	二	
生物多様性と経済活動Ⅰ	二	
生物多様性と経済活動Ⅱ	二	
ミクロ計量経済学Ⅰ	二	
ミクロ計量経済学Ⅱ	二	
損害保険論Ⅰ	二	
損害保険論Ⅱ	二	
海上保険論Ⅰ	二	
海上保険論Ⅱ	二	
ビジネス・コミュニケーション論Ⅰ	二	
ビジネス・コミュニケーション論Ⅱ	二	
国際商務論Ⅰ	二	
国際商務論Ⅱ	二	
国際経済学Ⅰ	二	
国際経済学Ⅱ	二	
金融機関論Ⅰ	二	
金融機関論Ⅱ	二	
マネタリー・エコノミクスⅠ	二	
マネタリー・エコノミクスⅡ	二	
金融システム論Ⅰ	二	
金融システム論Ⅱ	二	
コーポレート・ファイナンスⅠ	二	
コーポレート・ファイナンスⅡ	二	
国際金融論Ⅰ	二	
国際金融論Ⅱ	二	
証券論Ⅰ	二	
証券論Ⅱ	二	
インベストメントⅠ	二	
インベストメントⅡ	二	
保険学Ⅰ	二	
保険学Ⅱ	二	
生命保険論Ⅰ	二	
生命保険論Ⅱ	二	
金融工学Ⅰ	二	
金融工学Ⅱ	二	
計量ファイナンスⅠ	二	
計量ファイナンスⅡ	二	
リスクマネジメントⅠ	二	
リスクマネジメントⅡ	二	

生命保険経営戦略研究 I	二	
生命保険経営戦略研究 II	二	
マクロ経済学 I	二	
マクロ経済学 II	二	
進化経済学 I	二	
進化経済学 II	二	
経済学方法論 I	二	
経済学方法論 II	二	
日本経済論 I	二	
日本経済論 II	二	
経済史 I	二	
経済史 II	二	
計量経済学 I	二	
計量経済学 II	二	
景気変動論 I	二	
景気変動論 II	二	
統計学 I	二	
統計学 II	二	
財政学 I	二	
財政学 II	二	
現代経済学 I	二	
現代経済学 II	二	
数理ファイナンス I	二	
数理ファイナンス II	二	
応用経済学 I	二	
応用経済学 II	二	
経済数学 I	二	
経済数学 II	二	
特殊講義	二	
商法 I	二	
商法 II	二	
法人税法 I	二	
法人税法 II	二	
所得税法 I	二	
所得税法 II	二	
相続税法 I	二	
相続税法 II	二	
消費税法 I	二	
消費税法 II	二	
事例研究入門 I	二	
事例研究入門 II	二	
外国専門書研究	四	
日本語専門書研究	四	
実務英語	四	
研究セミナー I	二	

研究セミナーⅡ	四	
基礎セミナー	二	
導入セミナーⅠ	二	
導入セミナーⅡ	四	
ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ	二	
ビジネス・プラクティカル・セミナーⅡ	二	
MicroeconomicsⅠ	二	
MicroeconomicsⅡ	二	
Social ResearchⅠ	二	
Social ResearchⅡ	二	
Modern Japanese History	二	
Coping with Crises in Complex Socio-Economic Systems Workshop	二	
Financial dealings and the market economy	二	
Artificial Intelligent Economics	二	
Artificial Intelligent Market Experiment	二	
Service Science and the Related Economic Matters	二	
演習Ⅰ		四
演習Ⅱ		四

二 履修方法

ア 授業科目の中から主分野の講義三科目（六単位）と同指導教授の演習Ⅰ、演習Ⅱを主ゼミナールとして二科目（八単位）、合計五科目（十四単位）を選択履修し、かつ、基礎セミナー（二単位）、研究セミナー（二単位）、ビジネス・プラクティカル・セミナー（二単位）の中から二単位を選択履修しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げて一年で修了する場合の演習科目については、演習Ⅰを履修していれば足りるものとする。なお、主分野については別に定める。

イ 必要最低単位数三十二単位のうちア項の合計十六単位を除き、残りの十六単位を指導教授の指導により、授業科目の中から選択履修しなければならない。ただし、ア項ただし書に該当する場合には、指導教授の指導によって授業科目の中から選択履修しなければならない単位数を二十単位とする。

ウ 指導教授の承認を得て、他の教員担当の演習Ⅰ（一年次）及び演習Ⅱ（二年次）の中から二十単位まで副ゼミナールとして選択履修することができる。演習Ⅰ及び演習Ⅱを履修する場合には、演習Ⅱについては、演習Ⅰを担当する教員以外の教員の担当する演習を選択履修することができる。

エ 指導教授が必要と認めた場合は、イ項の規定にかかわらず、計八単位以内を他研究科の授業科目の中から選択履修することができる。

他研究科の授業科目を履修する場合においては、その授業科目の担当教員の承認及び関係研究科委員長の許可を受けなければならない。

オ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。

カ 授業科目の履修に際しては、同一教員担当の同一科目の単位を重複して修得することはできない。

キ 修士論文の作成については、指導教授の研究指導を受けなければならない。

第六 商学研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
特殊研究Ⅰ	四
特殊研究Ⅱ	四
特殊研究Ⅲ	四
研究セミナーⅢ	二
研究セミナーⅣ	四

二 研究及び履修方法

ア 学生は、研究及び博士論文の作成について、指導教授の研究指導を受けなければならない。

イ 一年次五月末日までに研究計画書を、二年次以降各年次四月末日までに研究状況報告書をそれぞれ指導教授を経て研究科委員会に提出しなければならない。

ウ 学生は、修了に必要な単位数十四単位を、主分野の特殊研究Ⅰ～Ⅲ（各四単位）合計三科目（十二単位）並びに指導教授以外が担当する特殊研究Ⅰ～Ⅲ（各四単位）又は研究セミナーⅢ～Ⅳ（二単位）から一科目（二単位）以上選択履修しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げて博士学位請求論文を一年次で提出する者は、特殊研究Ⅰを、二年次で提出する者は、特殊研究Ⅰ及び特殊研究Ⅱを履修していること。なお、主分野については別に定める。

第七 理工学研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数

共通科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
特殊講義Ⅰ	二	
特殊講義Ⅱ	二	
特殊講義	四	
プロジェクト演習Ⅰ		一
プロジェクト演習Ⅱ		一
プロジェクト演習Ⅲ		一
プロジェクト演習Ⅳ		一
英語学術ライティング	二	
英語学術プレゼンテーション	二	
海外特別研修		二
理工学英語セミナーⅠ		一
理工学英語セミナーⅡ		一
先端科学技術論Ⅰ	二	
先端科学技術論Ⅱ	二	
先端科学技術論Ⅲ	二	
環境テクノロジーⅠ	二	
環境テクノロジーⅡ	二	
沿岸環境システム概論Ⅰ	二	
沿岸環境システム概論Ⅱ	二	
地球環境気象学特論Ⅰ	二	
地球環境気象学特論Ⅱ	二	
環境数理学	二	
地球環境モデリング概論	二	
海洋環境学	二	
地球温暖化特論	二	
データサイエンス特論第一	二	
データサイエンス特論第二	二	
統計学基礎	二	
多変量解析特論	二	
ビジネスデータ解析特論	二	
データマイニング特論	二	
ビッグデータ解析特論	二	
計算機集約型統計モデル特論	二	
機械学習特論	二	
線形モデル特論	二	
ベイズ統計特論	二	
数理統計学特論	二	
極値統計学特論	二	
非線形モデル特論	二	
医学データ解析特論	二	
バイオインフォマティクス特論	二	
アクチュアリー数理Ⅰ	二	
アクチュアリー数理Ⅱ	二	
生命保険数理	二	
Global Sustainability Science 特論	二	

数学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
代数学特論第一	二		
代数学特論第二	二		
代数学特論第三	二		
代数学特論第四	二		
代数学特論第五	二		
代数学特論第六	二		
幾何学特論第一	二		
幾何学特論第二	二		
幾何学特論第三	二		
幾何学特論第四	二		
幾何学特論第五	二		
幾何学特論第六	二		
幾何学特論第七	二		
幾何学特論第八	二		
解析学特論第一	二		
解析学特論第二	二		
解析学特論第三	二		
解析学特論第四	二		
解析学特論第五	二		
解析学特論第六	二		
統計学特論第一	二		
統計学特論第二	二		
統計学特論第三	二		
統計学特論第四	二		
計算数学特論第一	二		
計算数学特論第二	二		
計算数学特論第三	二		
計算数学特論第四	二		
数学論文研修第一		三	
数学論文研修第二		三	
数学特別演習第一		一	
数学特別演習第二		一	
数学論文研修第三		三	
数学論文研修第四		三	
代数学特別講義第一	二		
代数学特別講義第二	二		
代数学特別講義第三	二		
代数学特別講義第四	二		
代数学特別講義第五	二		
代数学特別講義第六	二		
幾何学特別講義第一	二		
幾何学特別講義第二	二		
幾何学特別講義第三	二		
幾何学特別講義第四	二		
幾何学特別講義第五	二		
幾何学特別講義第六	二		
解析学特別講義第一	二		
解析学特別講義第二	二		
解析学特別講義第三	二		

解析学特別講義第四	二		
解析学特別講義第五	二		
解析学特別講義第六	二		
応用解析特別講義第一	二		
応用解析特別講義第二	二		
応用解析特別講義第三	二		
応用解析特別講義第四	二		
統計数学特別講義第一	二		
統計数学特別講義第二	二		
統計数学特別講義第三	二		
統計数学特別講義第四	二		
統計数学特別講義第五	二		
統計数学特別講義第六	二		
情報数学特別講義第一	二		
情報数学特別講義第二	二		
情報数学特別講義第三	二		
情報数学特別講義第四	二		
情報数学特別講義第五	二		
情報数学特別講義第六	二		

物理学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
数理物理学特論第一	二		
数理物理学特論第二	二		
相関電子系物理学特論第一	二		
相関電子系物理学特論第二	二		
量子光学特論第一	二		
量子光学特論第二	二		
パターン形成物理学特論第一	二		
パターン形成物理学特論第二	二		
非線形物理学特論第一	二		
非線形物理学特論第二	二		
非線形物理学特論第三	二		
量子物理学特論第一	二		
量子物理学特論第二	二		
場の理論特論第一	二		
場の理論特論第二	二		
場の理論特論第三	二		
固体物理学特論第一	二		
固体物理学特論第二	二		
固体物性化学特論第一	二		
固体物性化学特論第二	二		
凝縮系物理学特論第一	二		
凝縮系物理学特論第二	二		
素粒子論特論第一	二		
素粒子論特論第二	二		
宇宙物理学特論第一	二		
宇宙物理学特論第二	二		
生物物理学特論第一	二		
生物物理学特論第二	二		
生物物理学特論第三	二		
高エネルギー加速器科学第一	二		
高エネルギー加速器科学第二	二		
物理学特別講義第一	二		
物理学特別講義第二	二		
物理学特別講義第三	二		
物理学特別講義第四	二		
物理学特別講義第五	二		
物理学特別講義第六	二		
物理学特別講義第七	二		
物理学論文研修第一		三	
物理学論文研修第二		三	
物理学論文研修第三		三	
物理学論文研修第四		三	

都市人間環境学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
健康とリスク解析の統計学	二		
政策評価手法	二		
環境の数理とモデリング	二		
偏微分方程式と数値解析	二		
連続体力学	二		
計算固体力学	二		
非線形力学	二		
材料科学論	二		
道路舗装工学	二		
地盤動力学	二		
地盤減災工学	二		
基礎の破壊と安定性	二		
地盤構造物の設計・施工・維持管理	二		
性能設計	二		
信頼性評価	二		
構造物の安全性・信頼性	二		
構造物の診断と維持補修	二		
交通施設工学	二		
バイオメカニクス	二		
スポーツサイエンス	二		
ヒューマンパフォーマンス	二		
認知多変量解析	二		
心理実験デザインと解析	二		
消費者認知脳科学	二		
応用生物統計学	二		
大気科学	二		
水と社会	二		
計算流体力学	二		
洪水流の水理と河道設計	二		
河川管理論	二		
海岸水理学	二		
沿岸防災学	二		
応用水環境システム工学	二		
都市生態学	二		
応用持続可能性科学	二		
生物圏システム学	二		
救急救命システム論	二		
ウォーターセーフティ論	二		
応用認知マーケティング	二		
離散選択モデル	二		
エネルギーシステムの合成と評価	二		
環境・エネルギーシステム	二		
先端環境分析学	二		
機器構造解析学	二		
環境リスクとその評価	二		
環境政策論	二		
地形変化と自然災害	二		

科学 政策インターフェイス特論	二		
環境情報処理・リモートセンシング	二		
応用空間情報科学	二		
エコロジカル・プランニング	二		
都市防災・まちづくり	二		
都市空間解析	二		
都市環境政策	二		
居住環境設計論	二		
交通まちづくり論	二		
輸送システム	二		
都市人間環境プロジェクト第一		二	
都市人間環境プロジェクト第二		二	
都市人間環境プロジェクト第三		二	
インターンシップ	二		
都市人間環境特別講義第一	二		
都市人間環境特別講義第二	二		
都市人間環境特別講義第三	二		
都市人間環境学論文研修第一			三
都市人間環境学論文研修第二			三
都市人間環境学論文研修第三			三
都市人間環境学論文研修第四			三

精密工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
熱流体工学特論第一	二		
熱流体工学特論第二	二		
デジタル生産工学特論第一	二		
デジタル生産工学特論第二	二		
流体工学特論	四		
マイクロマシン特論	二		
マイクロシステム特論	二		
ヒューマンインタフェース特論第一	二		
ヒューマンインタフェース特論第二	二		
マイクロ・ナノロボティクス特論	二		
マイクロマニピュレーション特論	二		
生産情報システム特論第一	二		
生産情報システム特論第二	二		
情報ナノシステム特論	二		
制御工学特論	二		
ロボット工学特論	二		
固体力学特論第一	二		
固体力学特論第二	二		
アクチュエータ工学特論	二		
バイオメカトロニクス特論	二		
ナノ・マイクロ材料評価学特論	二		
構造・機能材料学特論	二		
センシング特論第一	二		
センシング特論第二	二		
音響システム特論第一	二		
音響システム特論第二	二		
熱移動工学特論第一	二		
熱移動工学特論第二	二		
ナノバイオテクノロジー特論	二		
自己組織化工学特論	二		
計算機統合生産演習		二	
Academic Writing	二		
英語プレゼンテーション入門		二	
精密工学論文研修第一		三	
精密工学論文研修第二		三	
精密工学論文研修第三		三	
精密工学論文研修第四		三	

電気電子情報通信工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
知的システム特論第一	二		
知的システム特論第二	二		
人間機械協調システム特論	二		
知能機械行動学特論	二		
生理工学特論	二		
生体情報薬理学特論	二		
生体情報工学特論	二		
医療福祉工学特論	二		
システム制御特論	二		
デジタル制御特論	二		
知能情報制御特論	二		
電気電子材料工学特論第一	二		
電気電子材料工学特論第二	二		
電気化学特論	二		
新エネルギー技術特論	二		
情報記録特論第一	二		
情報記録特論第二	二		
光デバイス特論	二		
光計測特論	二		
基礎物性工学特論	二		
光エレクトロニクス特論	二		
半導体物性工学特論	二		
有機エレクトロニクス特論	二		
バイオエレクトロニクス特論	二		
集積回路技術特論	二		
L S I 回路設計特論	二		
ナノスケール集積デバイス特論	二		
極低電力グリーンL S I 回路システム特論	二		
システムV L S I 設計特論	二		
マイクロプロセッサ特論	二		
並列システム設計特論	二		
回路シミュレーション特論	二		
非線形システム解析特論	二		
グラフとネットワーク特論	二		
回路・ネットワーク・システム特論	二		
ニューラルネットワーク特論	二		
モバイルコンピューティング特論	二		
アルゴリズム設計特論	二		
暗号理論特論	二		
符号理論特論	二		
量子情報特論第一	二		
量子情報特論第二	二		
映像情報処理特論	二		
信号処理特論	二		
電磁気学特論	二		
電磁波工学特論	二		
電磁理論特論第一	二		
電磁理論特論第二	二		
先端技術特別講義	二		

先進研究特別講義第一	二		
先進研究特別講義第二	二		
電気電子情報通信工学論文研修第一		三	
電気電子情報通信工学論文研修第二		三	
電気電子情報通信工学論文研修第三		三	
電気電子情報通信工学論文研修第四		三	

応用化学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
機能性高分子化学特論	二		
環境化学特論	二		
環境医科学特論	二		
有機反応化学特論	二		
有機合成化学特論	二		
ナノ物理化学特論	二		
計算化学特論	二		
理論化学特論	二		
生化学特論	二		
生物工学特論	二		
有機金属化学特論第一	二		
有機金属化学特論第二	二		
構造化学特論	二		
生命科学特論	二		
化学流体力学特論	二		
無機固体化学特論第一	二		
無機固体化学特論第二	二		
超臨界流体工学特論第一	二		
超臨界流体工学特論第二	二		
分子電気化学特論	二		
分子計測化学特論	二		
分子物理化学特論	二		
分子機能化学特論	二		
分光化学特論	二		
固体光化学特論	二		
生体機能化学特論	二		
有機元素化学特論	二		
有機分析化学特論	二		
先端有機化学特論	二		
分子分光化学特論	二		
天然物化学特論	二		
応用化学特別講義 1	一		
応用化学特別講義 2	一		
応用化学特別講義 3	一		
応用化学特別講義 4	一		
応用化学特別講義 5	一		
応用化学特別講義 6	一		
応用化学特別講義 7	一		
応用化学特別講義 8	一		
応用化学特別講義 9	一		
応用化学特別講義10	一		
応用化学特別講義11	一		
応用化学特別講義12	一		
応用化学論文研修第一		三	
応用化学論文研修第二		三	
応用化学論文研修第三		三	
応用化学論文研修第四		三	

ビジネスデータサイエンス専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
データサイエンス基礎数学第一	二		
データサイエンス基礎数学第二	二		
応用最適化	二		
数理統計学	二		
ベイズ統計学	二		
モデリング	二		
機械学習	二		
情報検索	二		
自然言語処理論	二		
金融工学特論第一	二		
金融工学特論第二	二		
アクチュアリー数理特論	二		
品質環境マネジメント特論	二		
人間信頼性工学特論	二		
ソフトウェア工学特論	二		
経営情報特論第一	二		
経営情報特論第二	二		
スマートセンシング特論第一	二		
スマートセンシング特論第二	二		
OR特論	二		
統計工学特論第一	二		
統計工学特論第二	二		
時系列解析特論	二		
応用統計学特論第一	二		
応用統計学特論第二	二		
ヒューマンメディア工学特論第一	二		
ヒューマンメディア工学特論第二	二		
知能情報学特論第一	二		
知能情報学特論第二	二		
都市情報科学第一	二		
都市情報科学第二	二		
経営戦略特論	二		
経営組織特論	二		
組織行動特論	二		
データサイエンス特別講義第一	二		
データサイエンス特別講義第二	二		
データサイエンス特別講義第三	二		
データサイエンス論文研修第一		三	
データサイエンス論文研修第二		三	
データサイエンス論文研修第三		三	
データサイエンス論文研修第四		三	

情報工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
離散アルゴリズム	二		
計算基礎理論	二		
アルゴリズム応用	二		
アルゴリズム工学特論	二		
応用数理工学特論	二		
アルゴリズム微分	二		
数値情報処理論	二		
言語系人工知能デザイン	二		
応用系人工知能デザイン	二		
システムのモデリングと最適化特論第一	二		
システムのモデリングと最適化特論第二	二		
暗号と電子認証	二		
メディア情報処理特論	二		
コンピュータグラフィックスとバーチャルリアリティ	二		
システム解析と可視化	二		
組合せ最適化特論	二		
数理構造論	二		
空間情報処理	二		
都市空間モデリング	二		
機械学習アルゴリズム	二		
幾何形状処理特論	二		
位相幾何学的計算特論	二		
情報ネットワーク構成特論	二		
確率と計算	二		
乱択アルゴリズム	二		
情報工学論文研修第一		三	
情報工学論文研修第二		三	
情報工学論文研修第三		三	
情報工学論文研修第四		三	
暗号理論特論	二		
情報セキュリティ技術	二		
ネットワークセキュリティ	二		
高信頼プログラミング	二		
情報セキュリティの管理と監査	二		
ネットワーク時代のセキュリティとガバナンス	二		
システム監査	二		
情報セキュリティ法制	二		
先進 I C T 演習		二	
電子社会と情報セキュリティ	二		

生命科学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
分子細胞機能論	二		
細胞機能制御論	二		
細胞構造生物学	二		
生体計測・解析	二		
環境生命科学	二		
微生物圏生態学	二		
多様性統合生物学	二		
分子細胞遺伝学	二		
応用分子生物学	二		
生命高分子情報学	二		
分子生理機能工学	二		
分子生物物理学	二		
医用生命科学基礎	二		
資源生物学	二		
分子細胞制御学	二		
生物工学特論	二		
生命科学特論第一	二		
生命科学特論第二	二		
生命科学特論第三	二		
生命科学特別講義第一	二		
生命科学特別講義第二	二		
生物資源経済学	二		
生命科学論文研修第一		三	
生命科学論文研修第二		三	
生命科学論文研修第三		三	
生命科学論文研修第四		三	

特別履修科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
環境・生命工学概論	二	
環境・生命科学概論	二	
環境・生命特別演習Ⅰ		二
環境・生命特別演習Ⅱ		二
水平和学特別演習Ⅰ		二
水平和学特別演習Ⅱ		二
チャレンジプログラム	二	
SATOYAMAプログラム	一	
データ科学・アクチュアリー特別演習Ⅰ		二
データ科学・アクチュアリー特別演習Ⅱ		二
情報セキュリティ特別演習Ⅰ		三
情報セキュリティ特別演習Ⅱ		三
感性情報論第一	二	
感性情報論第二	二	
ヒューマンメディア工学	二	
視覚情報処理論	二	
心理計測・実験心理	二	
感性認知脳科学基礎論	二	
ソフトコンピューティング	二	
感性システム論	二	
プロジェクトマネジメントのための感性の実践哲学	二	
感性デザイン論	二	
感性・知性の脳機能論	二	
音楽認知	二	
テクノロジーベンチャーのビジネスデザインと実践	二	
ヒューマンメディア情報環境論	二	
支援工学	二	
感性ロボティクス特別演習第一		二
感性ロボティクス特別演習第二		二
感性ロボティクス特別演習第三		二
感性ロボティクス特別演習第四		二
Global Sustainability Science特別演習Ⅰ		二
Global Sustainability Science特別演習Ⅱ		二
ヒューマニティーズ・ランゲージサイエンス概論	二	
ヒューマニティーズ・ランゲージサイエンス特別演習Ⅰ		二
ヒューマニティーズ・ランゲージサイエンス特別演習Ⅱ		二
ヒューマニティーズ特論A	二	
ヒューマニティーズ特論B	二	
ヒューマニティーズ特論C	二	
ランゲージサイエンス特論A	二	
ランゲージサイエンス特論B	二	
ランゲージサイエンス特論C	二	
日本語リテラシー発展演習	二	

自由科目

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
産業科学技術論 A	二		
産業科学技術論 B	二		
産業科学技術論 C	二		
産業科学技術演習 A		一	
産業科学技術演習 B		一	
産業科学技術演習 C		一	
産業科学技術研修 1		一	
産業科学技術研修 2		一	
産業科学技術研修 3		一	
産業科学技術研修 4		一	
コンピュータグラフィックス	二		
特別演習 A		二	
特別演習 B		二	
特別演習 C		二	
特別演習 D		二	

二 研究及び履修方法

ア 修士論文の作成については指導教授の研究指導を受けなければならない。

イ 授業科目の履修については指導教授の指導を受けなければならない。

ウ 各専攻の必要最低単位数三十単位のうち論文研修第一（一年次）及び論文研修第二（二年次）の二科目十二単位を履修しなければならない。

なお、論文研修第一、論文研修第二（一年次）及び論文研修第三、論文研修第四（二年次）を設置する専攻においては、各専攻の必要最低単位数三十単位のうち当該論文研修四科目十二単位を履修しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げて修士論文を一年次で提出する者は、各専攻の必要最低単位数三十単位のうち論文研修第一（論文研修第一、論文研修第二、論文研修第三及び論文研修第四を設置する専攻においては論文研修第一及び論文研修第二）を履修していること。

エ 論文研修を除く各専攻の必要単位数については、その専攻の授業科目の中から選択履修しなければならない。

オ 前項エのうち十単位については、前項の規定にかかわらず、共通科目若しくは他専攻の授業科目若しくは他研究科の授業科目又は交流・協力校が聴講を認めた授業科目を選択履修することができる。

他専攻の授業科目を履修する場合には、その授業科目の担当教員の承認を、他研究科の授業科目を履修する場合には、その授業科目の担当教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。

カ 第三十六条の二の規定にかかわらず、学生が本研究科に入学する前に大学院（外国の大学院を含む。）において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）のうち、本研究科における授業科目の履修により修得した単位としてみなすことのできる単位数は、十単位を限度とする。

キ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。

ク 特別履修科目の履修方法は、別に定める。

ケ 自由科目の履修方法は、別に定める。

第八 理工学研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数

共通科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
研究倫理	一	
ジョブ型研究インターンシップ		二

数学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
数学特論		二
数学特殊論文研修Ⅰ		二
数学特殊論文研修Ⅱ		二
数学特殊論文研修Ⅲ		二
数学特殊論文研修Ⅳ		二
数学特殊論文研修Ⅴ		二
数学特殊論文研修Ⅵ		二

物理学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
物理学特論		二
物理学特殊論文研修Ⅰ		二
物理学特殊論文研修Ⅱ		二
物理学特殊論文研修Ⅲ		二
物理学特殊論文研修Ⅳ		二
物理学特殊論文研修Ⅴ		二
物理学特殊論文研修Ⅵ		二

都市人間環境学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
都市人間環境学特論A		二
都市人間環境学特論B		二
都市人間環境学特殊研究Ⅰ	二	
都市人間環境学特殊研究Ⅱ	二	
都市人間環境学特殊論文研修Ⅰ		二
都市人間環境学特殊論文研修Ⅱ		二
都市人間環境学特殊論文研修Ⅲ		二
都市人間環境学特殊論文研修Ⅳ		二
都市人間環境学特殊論文研修Ⅴ		二
都市人間環境学特殊論文研修Ⅵ		二

精密工学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
精密工学特論		二
精密工学特殊論文研修 I		二
精密工学特殊論文研修 II		二
精密工学特殊論文研修 III		二
精密工学特殊論文研修 IV		二
精密工学特殊論文研修 V		二
精密工学特殊論文研修 VI		二

応用化学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
応用化学特論		二
応用化学特殊論文研修 I		二
応用化学特殊論文研修 II		二
応用化学特殊論文研修 III		二
応用化学特殊論文研修 IV		二
応用化学特殊論文研修 V		二
応用化学特殊論文研修 VI		二

ビジネスデータサイエンス専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
データサイエンス特論		二
データサイエンス特殊論文研修 I		二
データサイエンス特殊論文研修 II		二
データサイエンス特殊論文研修 III		二
データサイエンス特殊論文研修 IV		二
データサイエンス特殊論文研修 V		二
データサイエンス特殊論文研修 VI		二

情報工学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
情報工学特殊研究 I	二	
情報工学特殊研究 II	二	
情報工学特殊論文研修 I		二
情報工学特殊論文研修 II		二
情報工学特殊論文研修 III		二
情報工学特殊論文研修 IV		二
情報工学特殊論文研修 V		二
情報工学特殊論文研修 VI		二

生命科学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
生命科学特論		二
生命科学特殊論文研修Ⅰ		二
生命科学特殊論文研修Ⅱ		二
生命科学特殊論文研修Ⅲ		二
生命科学特殊論文研修Ⅳ		二
生命科学特殊論文研修Ⅴ		二
生命科学特殊論文研修Ⅵ		二

電気・情報系専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
電気・情報系特論		二
電気・情報系特殊研究	二	
電気・情報系特殊論文研修Ⅰ		二
電気・情報系特殊論文研修Ⅱ		二
電気・情報系特殊論文研修Ⅲ		二
電気・情報系特殊論文研修Ⅳ		二
電気・情報系特殊論文研修Ⅴ		二
電気・情報系特殊論文研修Ⅵ		二

特別履修科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
環境・生命特別演習Ⅰ		二
環境・生命特別演習Ⅱ		二
水平和学特別演習Ⅰ		二
水平和学特別演習Ⅱ		二
データ科学・アクチュアリー特別演習Ⅰ		二
データ科学・アクチュアリー特別演習Ⅱ		二
情報セキュリティ特別演習Ⅰ		二
情報セキュリティ特別演習Ⅱ		二
感性ロボティクス特別演習第一		二
感性ロボティクス特別演習第二		二
感性ロボティクス特別演習第三		二
感性ロボティクス特別演習第四		二
ヒューマニティーズ・ランゲージサイエンス特別演習Ⅰ		二
ヒューマニティーズ・ランゲージサイエンス特別演習Ⅱ		二

二 研究及び履修方法

- ア 研究の計画、実施及び博士論文作成に当たっては、指導教授の研究指導を受けなければならない。
- イ 一年次の九月末日までに研究計画書を、二年次の十二月末日までに研究経過報告書をそれぞれ指導教授を経て研究科委員会に提出しなければならない。
- ウ 指導教授の指導により、特論、特殊論文研修Ⅰ（一年次）、特殊論文研修Ⅱ（一年次）、特殊論文研修Ⅲ（二年次）、特殊論文研修Ⅳ（二年次）、特殊論文研修Ⅴ（三年次）及び特殊論文研修Ⅵ（三年次）の七科目十四単位を履修しなければならない。
- エ 共通科目設置の必修科目を履修しなければならない。

ただし、優れた研究業績を上げて博士學位論文を一年次で提出する者は、特論、特殊論文研修Ⅰ、特殊論文研修Ⅱ及び共通科目設置の必修科目を、二年次で提出する者は、特論、特殊論文研修Ⅰ、特殊論文研修Ⅱ、特殊論文研修Ⅲ、特殊論文研修Ⅳ及び共通科目設置の必修科目を履修していること。

オ 指導教授が必要と認めた場合は、他専攻又は他研究科の授業科目の中から十単位以内に限り履修することができる。

他専攻の授業科目を履修する場合には、その授業科目の担当教員の承認を、他研究科の授業科目を履修する場合には、その授業科目の担当教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。

カ 特別履修科目の履修方法は別に定める。

第九 文学研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数

共通科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	実 習
特殊講義	二	
総合講座	二	
インターンシップ		二

国文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
上代文学研究 A	二	
上代文学研究 B	二	
中古文学研究 A	二	
中古文学研究 B	二	
中世文学研究 A	二	
中世文学研究 B	二	
近世文学研究 A	二	
近世文学研究 B	二	
近代文学研究 A	二	
近代文学研究 B	二	
現代文学研究 A	二	
現代文学研究 B	二	
日本漢文学研究 A	二	
日本漢文学研究 B	二	
国語学研究 A	二	
国語学研究 B	二	
国語史研究 A	二	
国語史研究 B	二	
書誌学	二	
浮世絵学	二	
映像文化史	二	
マンガ論	二	
国語科教育研究 A	二	
国語科教育研究 B	二	
古文教材研究	二	
漢文教材研究	二	
現代文教材研究	二	
国文法	二	

英文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
英文学研究（演劇）A	二	
英文学研究（演劇）B	二	
英文学研究（現代小説）A	二	
英文学研究（現代小説）B	二	
英文学研究（近代小説）A	二	
英文学研究（近代小説）B	二	
英文学研究（詩）A	二	
英文学研究（詩）B	二	
英語圏文学研究A	二	
英語圏文学研究B	二	
米文学研究（近代）A	二	
米文学研究（近代）B	二	
米文学研究（現代Ⅰ）A	二	
米文学研究（現代Ⅰ）B	二	
米文学研究（現代Ⅱ）A	二	
米文学研究（現代Ⅱ）B	二	
米文学研究（現代Ⅲ）A	二	
米文学研究（現代Ⅲ）B	二	
英語学研究（意味論・語用論）A	二	
英語学研究（意味論・語用論）B	二	
英語学研究（形態論・統語論）A	二	
英語学研究（形態論・統語論）B	二	
英語学研究（音声学・音韻論）A	二	
英語学研究（音声学・音韻論）B	二	
英語学研究（言語習得論）A	二	
英語学研究（言語習得論）B	二	
英語学研究（社会言語学）A	二	
英語学研究（社会言語学）B	二	
英語学研究（心理言語学）A	二	
英語学研究（心理言語学）B	二	
英語学研究（英語史）A	二	
英語学研究（英語史）B	二	
英語教育研究ⅠA	二	
英語教育研究ⅠB	二	
英語教育研究ⅡA	二	
英語教育研究ⅡB	二	
英語教育のための文学文化研究ⅠA	二	
英語教育のための文学文化研究ⅠB	二	
英語教育のための文学文化研究ⅡA	二	
英語教育のための文学文化研究ⅡB	二	
英語教育のための言語科学研究A	二	

英語教育のための言語科学研究 B	二	
英語表現演習 I		二
英語表現演習 II		二
英語学術発表演習 I		二
英語学術発表演習 II		二

独文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
ドイツ文学演習 A		二
ドイツ文学演習 B		二
ドイツ語学・教授法演習 A		二
ドイツ語学・教授法演習 B		二
ドイツ文化演習 A		二
ドイツ文化演習 B		二
ドイツ芸術論演習 A		二
ドイツ芸術論演習 B		二
ドイツ社会誌演習 A		二
ドイツ社会誌演習 B		二
比較文学・比較文化演習 A		二
比較文学・比較文化演習 B		二
学術ドイツ語・研究法演習 A		二
学術ドイツ語・研究法演習 B		二
ドイツ文化論研究 A	二	
ドイツ文化論研究 B	二	

仏文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
フランス古典啓蒙文学演習 A		二
フランス古典啓蒙文学演習 B		二
フランス近代文学演習 A		二
フランス近代文学演習 B		二
フランス現代文学演習 A		二
フランス現代文学演習 B		二
フランス詩演習 A		二
フランス詩演習 B		二
フランス演劇・映画演習 A		二
フランス演劇・映画演習 B		二
フランス言語思想演習 A		二
フランス言語思想演習 B		二
フランス文化・社会史演習 A		二
フランス文化・社会史演習 B		二
フランス近代美術史演習 A		二
フランス近代美術史演習 B		二

中国言語文化専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
中国現代文学演習 A		二
中国現代文学演習 B		二
中国古典文学演習 A		二
中国古典文学演習 B		二
中国思想文化演習 A		二
中国思想文化演習 B		二
日中比較文化演習 A		二
日中比較文化演習 B		二
中国語現代文法演習 A		二
中国語現代文法演習 B		二
中国語語彙論演習 A		二
中国語語彙論演習 B		二
中国語表現演習 A		二
中国語表現演習 B		二
中国語翻訳演習 A		二
中国語翻訳演習 B		二

日本史学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
日本古代史演習ⅠA		二
日本古代史演習ⅠB		二
日本古代史演習ⅡA		二
日本古代史演習ⅡB		二
日本古代史演習ⅢA		二
日本古代史演習ⅢB		二
日本中世史演習ⅠA		二
日本中世史演習ⅠB		二
日本中世史演習ⅡA		二
日本中世史演習ⅡB		二
日本中世史演習ⅢA		二
日本中世史演習ⅢB		二
日本近世史演習ⅠA		二
日本近世史演習ⅠB		二
日本近世史演習ⅡA		二
日本近世史演習ⅡB		二
日本近代史演習ⅠA		二
日本近代史演習ⅠB		二
日本近代史演習ⅡA		二
日本近代史演習ⅡB		二
日本政治史演習ⅠA		二
日本政治史演習ⅠB		二
日本政治史演習ⅡA		二
日本政治史演習ⅡB		二
日本政治史演習ⅢA		二
日本政治史演習ⅢB		二
日本考古学演習A		二
日本考古学演習B		二
アーカイブズ法制論	二	
地域アーカイブズ論	二	
アーカイブズ学研究A		二
アーカイブズ学研究B		二
史料管理学研究		四
考古学研究A		二
考古学研究B		二
歴史教育研究Ⅰ	二	
歴史教育研究Ⅱ	二	
史料教材研究Ⅰ	二	
史料教材研究Ⅱ	二	

東洋史学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
中国古代史特講 A	二	
中国古代史特講 B	二	
中国古代史演習 A		二
中国古代史演習 B		二
中国中世史特講 A	二	
中国中世史特講 B	二	
中国中世史演習 A		二
中国中世史演習 B		二
中国近世史特講 A	二	
中国近世史特講 B	二	
中国近世史演習 A		二
中国近世史演習 B		二
中国近代史特講 A	二	
中国近代史特講 B	二	
中国近代史演習 A		二
中国近代史演習 B		二
中央ユーラシア史特講 A	二	
中央ユーラシア史特講 B	二	
中央ユーラシア史演習 A		二
中央ユーラシア史演習 B		二
イスラーム史特講 A	二	
イスラーム史特講 B	二	
イスラーム史演習 A		二
イスラーム史演習 B		二
東南アジア史特講 A	二	
東南アジア史特講 B	二	
東南アジア史演習 A		二
東南アジア史演習 B		二
東洋史学特講 A	二	
東洋史学特講 B	二	
東洋史学演習 A		二
東洋史学演習 B		二
東洋文化特講 A	二	
東洋文化特講 B	二	
歴史教育研究 I	二	
歴史教育研究 II	二	
史料教材研究 I	二	
史料教材研究 II	二	

西洋史学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
西洋古代史演習 I A		二
西洋古代史演習 I B		二
西洋古代史演習 II A		二
西洋古代史演習 II B		二
西洋古代史演習 III A		二
西洋古代史演習 III B		二
西洋中世史演習 I A		二
西洋中世史演習 I B		二
西洋中世史演習 II A		二
西洋中世史演習 II B		二
西洋近世史演習 I A		二
西洋近世史演習 I B		二
西洋近世史演習 II A		二
西洋近世史演習 II B		二
西洋近代史演習 I A		二
西洋近代史演習 I B		二
西洋近代史演習 II A		二
西洋近代史演習 II B		二
西洋現代史演習 A		二
西洋現代史演習 B		二
西洋史基礎演習 I A		二
西洋史基礎演習 I B		二
西洋史基礎演習 II A		二
西洋史基礎演習 II B		二
歴史教育研究 I	二	
歴史教育研究 II	二	
史料教材研究 I	二	
史料教材研究 II	二	

哲学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
西洋古代中世哲学研究 I A	二	
西洋古代中世哲学研究 I B	二	
西洋古代中世哲学研究 II A	二	
西洋古代中世哲学研究 II B	二	
西洋近世哲学研究 I A	二	
西洋近世哲学研究 I B	二	
西洋近世哲学研究 II A	二	
西洋近世哲学研究 II B	二	
西洋近代哲学研究 I A	二	
西洋近代哲学研究 I B	二	
西洋近代哲学研究 II A	二	
西洋近代哲学研究 II B	二	
西洋現代哲学研究 I A	二	
西洋現代哲学研究 I B	二	
西洋現代哲学研究 II A	二	
西洋現代哲学研究 II B	二	
中国哲学研究 I A	二	
中国哲学研究 I B	二	
中国哲学研究 II A	二	
中国哲学研究 II B	二	
日本倫理思想研究 I A	二	
日本倫理思想研究 I B	二	
日本倫理思想研究 II A	二	
日本倫理思想研究 II B	二	
科学哲学 A	二	
科学哲学 B	二	

社会学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
社会問題演習 A		二
社会問題演習 B		二
逸脱の社会学特講 A	二	
逸脱の社会学特講 B	二	
家族社会学演習 A		二
家族社会学演習 B		二
ジェンダー論特講 A	二	
ジェンダー論特講 B	二	
社会学理論（古典）特講	二	
社会学理論（現代）特講	二	
理論社会学演習 A		二
理論社会学演習 B		二
地域社会学演習		二
都市社会学演習		二
惑星社会論特講 A	二	
惑星社会論特講 B	二	
比較社会学演習 A		二
比較社会学演習 B		二
グローバル社会運動論特講 A	二	
グローバル社会運動論特講 B	二	
臨床社会学演習		二
歴史社会学演習		二
日常性の社会学特講	二	
権力と支配の社会学特講	二	
質的調査研究	二	
国際フィールドワーク研究	二	
現代社会論特講 A	二	
現代社会論特講 B	二	
現代理論社会学特講 A	二	
現代理論社会学特講 B	二	
調査理論特講 A	二	
調査理論特講 B	二	
社会学理論特講（古典）	二	
社会学理論特講（現代）	二	
質的社会調査特講	二	
量的社会調査特講	二	
社会構想論特講	二	
社会学ライティング特講	二	
社会学プロジェクト演習（グローバル）Ⅰ A		二
社会学プロジェクト演習（グローバル）Ⅱ A		二
社会学プロジェクト演習（グローバル）Ⅰ B		二

社会学プロジェクト演習（グローバル）ⅡB		二
社会学プロジェクト演習（ヴィジョナリー）ⅢA		二
社会学プロジェクト演習（ヴィジョナリー）ⅣA		二
社会学プロジェクト演習（ヴィジョナリー）ⅢB		二
社会学プロジェクト演習（ヴィジョナリー）ⅣB		二
社会学プロジェクト演習（クリニカル）ⅤA		二
社会学プロジェクト演習（クリニカル）ⅥA		二
社会学プロジェクト演習（クリニカル）ⅤB		二
社会学プロジェクト演習（クリニカル）ⅥB		二
社会運動論特講	二	
社会変動論特講	二	
グローバリゼーション論特講	二	
東アジア社会論特講	二	
地域社会学特講	二	
都市社会学特講	二	
臨床社会学特講	二	
家族社会学特講	二	
歴史社会学特講	二	
ジェンダー・セクシュアリティ特講	二	
現代社会学特講	二	
文献講読特講A	二	
文献講読特講B	二	

社会情報学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
社会心理学特講 A	二	
社会心理学特講 B	二	
社会心理学演習 A		二
社会心理学演習 B		二
文化社会学特講 A	二	
文化社会学特講 B	二	
文化社会学演習 A		二
文化社会学演習 B		二
メディア・コミュニケーション論特講 A	二	
メディア・コミュニケーション論特講 B	二	
メディア・コミュニケーション論演習 A		二
メディア・コミュニケーション論演習 B		二
社会情報学基礎理論特講 A	二	
社会情報学基礎理論特講 B	二	
社会情報学調査法演習 A		二
社会情報学調査法演習 B		二
図書館情報学特講 A	二	
図書館情報学特講 B	二	
図書館情報学演習 A		二
図書館情報学演習 B		二
情報システム学特講 A	二	
情報システム学特講 B	二	
情報システム学演習 A		二
情報システム学演習 B		二
コミュニケーション論特講 A	二	
コミュニケーション論特講 B	二	
メディア論特講 A	二	
メディア論特講 B	二	
情報科学特講 A	二	
情報科学特講 B	二	
記録管理学特講 A	二	
記録管理学特講 B	二	

教育学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
教育哲学特講	二	
教育哲学演習		二
教育史特講	二	
教育史演習		二
教育思想史特講Ⅰ	二	
教育思想史特講Ⅱ	二	
教育方法学特講	二	
教育方法学演習		二
教育行政学特講	二	
教育行政学演習		二
学校教育学特講Ⅰ	二	
学校教育学特講Ⅱ	二	
教育社会学特講	二	
教育社会学演習		二
生涯学習論特講	二	
生涯学習論演習		二
教育調査法特講Ⅰ	二	
教育調査法特講Ⅱ	二	
教育学研究特講Ⅰ	二	
教育学研究特講Ⅱ	二	
教育学総合演習A		二
教育学総合演習B		二

心理学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
心理学基礎理論 I	二	
心理学基礎理論 II	二	
臨床神経心理学特講 I	二	
臨床神経心理学特講 II	二	
臨床神経心理学演習 I		二
臨床神経心理学演習 II		二
認知心理学特講 I	二	
認知心理学特講 II	二	
認知心理学演習 I		二
認知心理学演習 II		二
文化・認知心理学特講 I	二	
文化・認知心理学特講 II	二	
文化・認知心理学演習 I		二
文化・認知心理学演習 II		二
生涯発達心理学特講 I	二	
生涯発達心理学特講 II	二	
生涯発達心理学演習 I		二
生涯発達心理学演習 II		二
発達臨床心理学演習		二
障害児心理学特講（福祉分野に関する理論と支援の展開）	二	
神経心理学特講（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	二	
心理学情報処理演習		二
Academic Writing and Presentation Skills in Psychology	二	
学校カウンセリング演習（教育分野に関する理論と支援の展開）		二
臨床心理学特論 I	二	
臨床心理学特論 II	二	
臨床心理面接特論 I（心理支援に関する理論と実践）	二	
臨床心理面接特論 II	二	
臨床心理査定演習 I		二
臨床心理査定演習 II		二
臨床心理基礎実習 I		一
臨床心理基礎実習 II		一
臨床心理実習 A（心理実践実習）		二
臨床心理実習 B		二
心理学研究法特講	二	
心理統計法特講	二	
Community Psychology	二	
社会病理学特講	二	
犯罪心理学特講（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	二	
心理療法特講	二	

臨床心理地域援助特講	二	
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	二	
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	二	
心理的アセスメントに関する理論と実践	二	
心の健康教育に関する理論と実践	二	

特別指定科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
特別指定科目Ⅰ	二	
特別指定科目Ⅱ	二	
特別指定科目Ⅲ	二	
特別指定科目Ⅳ	二	
特別指定科目Ⅴ	二	
特別指定科目Ⅵ	二	

二 履修方法

- ア 各専攻の授業科目は、指導教授の指導及び各専攻の定めるところにより選択履修しなければならない。
- イ 修了に必要な単位数三十二単位は、各専攻の授業科目及び共通科目の中から選択履修しなければならない。
- ウ 指導教授が必要と認めた場合は、前項の規定にかかわらず、十二単位以内を他専攻又は他研究科の授業科目の中から選択履修することができる。
- エ 他専攻の授業科目を履修する場合は、その授業科目の担当教員の承認を、他研究科の授業科目を履修する場合は、その授業科目の担任教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。
- オ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。
- カ 修士論文の作成に当たっては、指導教授の研究指導を受けなければならない。
- キ 特別指定科目の履修方法は、別に定める。

第十 文学研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数

共通科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講	義
特別研究	二	
総合研究	二	
インターンシップ		二

国文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講	義
上代文学特殊研究A		二
上代文学特殊研究B		二
中古文学特殊研究A		二
中古文学特殊研究B		二
中世文学特殊研究A		二
中世文学特殊研究B		二
近世文学特殊研究A		二
近世文学特殊研究B		二
近代文学特殊研究A		二
近代文学特殊研究B		二
現代文学特殊研究A		二
現代文学特殊研究B		二
国語学特殊研究A		二
国語学特殊研究B		二
日本漢文学特殊研究A		二
日本漢文学特殊研究B		二
国語史特殊研究A		二
国語史特殊研究B		二

英文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講	義
英文学特殊研究ⅠA		二
英文学特殊研究ⅠB		二
英文学特殊研究ⅡA		二
英文学特殊研究ⅡB		二
英文学特殊研究ⅢA		二
英文学特殊研究ⅢB		二
英文学特殊研究ⅣA		二
英文学特殊研究ⅣB		二
英文学特殊研究ⅤA		二
英文学特殊研究ⅤB		二
英文学特殊研究ⅥA		二
英文学特殊研究ⅥB		二
英文学特殊研究ⅦA		二
英文学特殊研究ⅦB		二
英文学特殊研究ⅧA		二
英文学特殊研究ⅧB		二
米文学特殊研究ⅠA		二
米文学特殊研究ⅠB		二
米文学特殊研究ⅡA		二
米文学特殊研究ⅡB		二
米文学特殊研究ⅢA		二
米文学特殊研究ⅢB		二
米文学特殊研究ⅣA		二
米文学特殊研究ⅣB		二
米文学特殊研究ⅤA		二
米文学特殊研究ⅤB		二
英語学特殊研究ⅠA		二
英語学特殊研究ⅠB		二
英語学特殊研究ⅡA		二
英語学特殊研究ⅡB		二
英語学特殊研究ⅢA		二
英語学特殊研究ⅢB		二
英語学特殊研究ⅣA		二
英語学特殊研究ⅣB		二
英語学特殊研究ⅤA		二
英語学特殊研究ⅤB		二

独文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講	義
ドイツ文学特殊研究A		二
ドイツ文学特殊研究B		二
ドイツ語学・教授法特殊研究A		二
ドイツ語学・教授法特殊研究B		二
ドイツ文化特殊研究A		二
ドイツ文化特殊研究B		二
ドイツ芸術論特殊研究A		二
ドイツ芸術論特殊研究B		二
ドイツ社会誌特殊研究A		二
ドイツ社会誌特殊研究B		二
比較文学・比較文化特殊研究A		二
比較文学・比較文化特殊研究B		二

仏文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講	義
フランス古典啓蒙文学特殊研究A		二
フランス古典啓蒙文学特殊研究B		二
フランス近代文学特殊研究A		二
フランス近代文学特殊研究B		二
フランス現代文学特殊研究A		二
フランス現代文学特殊研究B		二
フランス詩特殊研究A		二
フランス詩特殊研究B		二
フランス演劇・映画特殊研究A		二
フランス演劇・映画特殊研究B		二
フランス言語思想特殊研究A		二
フランス言語思想特殊研究B		二
フランス文化・社会史特殊研究A		二
フランス文化・社会史特殊研究B		二
フランス近代美術史特殊研究A		二
フランス近代美術史特殊研究B		二

中国言語文化専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
中国語学特殊研究 I A	二
中国語学特殊研究 I B	二
中国語学特殊研究 II A	二
中国語学特殊研究 II B	二
中国文学特殊研究 I A	二
中国文学特殊研究 I B	二
中国文学特殊研究 II A	二
中国文学特殊研究 II B	二
中国文化特殊研究 I A	二
中国文化特殊研究 I B	二
中国文化特殊研究 II A	二
中国文化特殊研究 II B	二

日本史学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
日本古代史特殊研究 A	二
日本古代史特殊研究 B	二
日本中世史特殊研究 A	二
日本中世史特殊研究 B	二
日本近世史特殊研究 A	二
日本近世史特殊研究 B	二
日本近代史特殊研究 A	二
日本近代史特殊研究 B	二
日本政治史特殊研究 I A	二
日本政治史特殊研究 I B	二
日本政治史特殊研究 II A	二
日本政治史特殊研究 II B	二
日本史学特殊研究 I A	二
日本史学特殊研究 I B	二
日本史学特殊研究 II A	二
日本史学特殊研究 II B	二
日本考古学特殊研究 A	二
日本考古学特殊研究 B	二
史料学特殊研究	四

東洋史学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
中国古代史特殊研究A	二
中国古代史特殊研究B	二
中国中世史特殊研究A	二
中国中世史特殊研究B	二
中国近世史特殊研究A	二
中国近世史特殊研究B	二
中国近代史特殊研究A	二
中国近代史特殊研究B	二
中央ユーラシア史特殊研究A	二
中央ユーラシア史特殊研究B	二
イスラーム史特殊研究A	二
イスラーム史特殊研究B	二
東南アジア史特殊研究A	二
東南アジア史特殊研究B	二
東洋史学特殊研究（インド史）A	二
東洋史学特殊研究（インド史）B	二
東洋史学特殊研究（朝鮮史）A	二
東洋史学特殊研究（朝鮮史）B	二
東洋文化特殊研究A	二
東洋文化特殊研究B	二

西洋史学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
西洋現代史特殊研究A	二
西洋現代史特殊研究B	二
西洋近代史特殊研究A	二
西洋近代史特殊研究B	二
西洋近世史特殊研究A	二
西洋近世史特殊研究B	二
西洋中世史特殊研究A	二
西洋中世史特殊研究B	二
西洋古代史特殊研究A	二
西洋古代史特殊研究B	二

哲学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	
西洋古代中世哲学特殊研究 A		二
西洋古代中世哲学特殊研究 B		二
西洋近世哲学特殊研究 A		二
西洋近世哲学特殊研究 B		二
西洋近代哲学特殊研究 A		二
西洋近代哲学特殊研究 B		二
西洋現代哲学特殊研究 A		二
西洋現代哲学特殊研究 B		二
日本倫理思想特殊研究 A		二
日本倫理思想特殊研究 B		二
中国哲学特殊研究 A		二
中国哲学特殊研究 B		二
科学哲学特殊研究 A		二
科学哲学特殊研究 B		二

社会学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
文献講読特殊研究 A	二	
文献講読特殊研究 B	二	
社会構想論特殊研究	二	
社会学プロジェクト専門演習 (グローバル) I A		二
社会学プロジェクト専門演習 (グローバル) II A		二
社会学プロジェクト専門演習 (グローバル) I B		二
社会学プロジェクト専門演習 (グローバル) II B		二
社会学プロジェクト専門演習 (ヴィジョナリー) III A		二
社会学プロジェクト専門演習 (ヴィジョナリー) IV A		二
社会学プロジェクト専門演習 (ヴィジョナリー) III B		二
社会学プロジェクト専門演習 (ヴィジョナリー) IV B		二
社会学プロジェクト専門演習 (クリニカル) V A		二
社会学プロジェクト専門演習 (クリニカル) VI A		二
社会学プロジェクト専門演習 (クリニカル) V B		二
社会学プロジェクト専門演習 (クリニカル) VI B		二
社会運動論特殊研究	二	
社会変動論特殊研究	二	
グローバリゼーション論特殊研究	二	
東アジア社会論特殊研究	二	
社会学理論特殊研究 (古典)	二	
地域社会学特殊研究	二	

社会学理論特殊研究（現代）	二	
都市社会学特殊研究	二	
臨床社会学特殊研究	二	
家族社会学特殊研究	二	
歴史社会学特殊研究	二	
ジェンダー・セクシュアリティ特殊研究	二	
現代社会学特殊研究	二	

社会情報学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講	義
社会心理学特殊研究A		二
社会心理学特殊研究B		二
社会情報学理論と方法論特殊研究A		二
社会情報学理論と方法論特殊研究B		二
文化社会学特殊研究A		二
文化社会学特殊研究B		二
メディア論特殊研究A		二
メディア論特殊研究B		二
図書館情報学特殊研究A		二
図書館情報学特殊研究B		二
情報システム学特殊研究A		二
情報システム学特殊研究B		二
コミュニケーション論特殊研究A		二
コミュニケーション論特殊研究B		二
メディア・コミュニケーション論特殊研究A		二
メディア・コミュニケーション論特殊研究B		二
情報科学特殊研究A		二
情報科学特殊研究B		二

教育学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講	義
教育哲学特殊研究A		二
教育哲学特殊研究B		二
教育方法学特殊研究A		二
教育方法学特殊研究B		二
教育行政学特殊研究A		二
教育行政学特殊研究B		二
教育社会学特殊研究A		二
教育社会学特殊研究B		二
教育史特殊研究A		二
教育史特殊研究B		二
生涯学習論特殊研究A		二
生涯学習論特殊研究B		二
教育学特殊研究 I		二
教育学特殊研究 II		二

心理学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
学校臨床心理学特殊研究Ⅰ	二
学校臨床心理学特殊研究Ⅱ	二
認知心理学特殊研究Ⅰ	二
認知心理学特殊研究Ⅱ	二
文化・認知心理学特殊研究Ⅰ	二
文化・認知心理学特殊研究Ⅱ	二
生涯発達心理学特殊研究Ⅰ	二
生涯発達心理学特殊研究Ⅱ	二
臨床・健康心理学特殊研究Ⅰ	二
臨床・健康心理学特殊研究Ⅱ	二
神経心理学特殊研究Ⅰ	二
神経心理学特殊研究Ⅱ	二
精神医学特殊研究Ⅰ	二
精神医学特殊研究Ⅱ	二
心理学特殊講義Ⅰ	二
心理学特殊講義Ⅱ	二

二 研究及び履修方法

ア 博士論文作成に当たっては、指導教授の研究指導を受けなければならない。

イ 一年次五月末日までに研究計画書を、二年度以降各年度四月末日までに研究状況報告書をそれぞれ指導教授を経て研究科委員会に提出しなければならない。

ウ 各専攻の授業科目及び共通科目の中から、指導教授の指導により講義十六単位を選択履修しなければならない。

ただし、社会学専攻の学生は講義及び演習から文献講読特殊研究A、文献講読特殊研究B及び社会構想論特殊研究を含む十六単位を選択履修しなければならない。

エ 指導教授が必要と認めた場合は、他専攻若しくは他研究科の授業科目又は交流・協力校が聴講を認めた授業科目の中から、八単位を選択履修することができる。

他専攻の授業科目を履修する場合は、その授業科目の担当教員の承認を、他研究科の授業科目を履修する場合は、その授業科目の担当教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。

オ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。

第十一 総合政策研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
研究基礎科目		
リサーチ・リテラシー	二	
統計・計量分析	二	
社会調査法	二	
公共政策	二	
経済学	四	
経営学	二	
地域・文化研究	二	
社会思想	二	
総合政策フォーラム	二	
研究発展科目		
正義と法	二	
政治行動論	二	
行政管理論	二	
司法過程論	二	
政策法学	二	
学際法学	二	
公共経済と公共選択	二	
応用ミクロ経済学	二	
人的資源論	二	
金融の理論とその応用	二	
市場と規制の政策分析	二	
法人類学	二	
地方財政論	二	
経営組織論	二	
経営戦略論	二	
多国籍企業と人事管理	二	
国際経営論	二	
ビジネス・ファイナンス	二	
ベンチャービジネス経営論	二	
国際マーケティング戦略	二	
環境監査論	二	
経営リスクマネジメント	二	
企業経済論	二	
ビジネス・エコノミクス研究	二	
イスラーム経済・経営論	二	
ヨーロッパ統合とEU法	二	
現代外交史	二	
安全保障論	二	
民族紛争と共生	二	
西アジアとグローバリゼーション	二	
現代メディア論	二	

メディア研究方法論	二	
環境と都市	二	
NPO・NGO論I	二	
開発におけるスポーツ	二	
英語圏：ナラティブ、世界観、言語	二	
イスラーム文明と現代世界	二	
イスラーム哲学（イスラーム思想）	二	
アメリカの社会・文化・思想	二	
比較文化論	二	
演劇と人間	二	
ジェンダー・セクシュアリティ論	二	
西洋哲学	二	
文化研究方法論	二	
情報コミュニケーション論	二	
東南アジアの社会と文化	二	
日本・アジア関係史	二	
アジアの宗教	二	
シベリアの社会と民族	二	
アジア開発経済論	二	
南アジアの社会と文化	二	
華人の社会と文化	二	
日本歴史民俗論	二	
物質文化論	二	
英語プレゼンテーションの技法	二	
学術研究Ⅰ	二	
学術研究Ⅱ	二	
学術研究Ⅲ	二	
学術研究Ⅳ	二	
特殊講義Ⅰ	二	
特殊講義Ⅱ	二	
研究応用科目		
演習（総合政策セミナー）Ⅰ（一）		二
演習（総合政策セミナー）Ⅰ（二）		二
演習（総合政策セミナー）Ⅰ（三）		二
演習（総合政策セミナー）Ⅰ（四）		二
演習（総合政策セミナー）Ⅱ		四

二 研究及び履修方法

- ア 研究基礎科目のリサーチ・リテラシー、統計・計量分析、社会調査法、総合政策フォーラム（各二単位）合計八単位並びに研究応用科目の演習（総合政策セミナー）Ⅰ（一）、（二）、（三）、（四）（各二単位）合計八単位及び演習（総合政策セミナー）Ⅱ（四単位）を履修し、セミナーに関連する修士論文又は共同研究報告書を作成し提出しなければならない。
- イ 研究基礎科目のうち、前項アの八単位を除く五科目から二科目四単位を選択履修しなければならない。
- ウ 修了に必要な単位数三十単位のうち、ア及びイ項の合計二十四単位を除く六単位を研究基礎科目、研究発展科目及び他研究科の授業科目又は交流・協力校が聴講を認めた授業科目の中から選択履修しなければならない。
- エ 他研究科の授業科目を履修する場合においては、その授業科目の担当教員及び関係のある研究科委員長の許可を受けなければならない。
- オ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。
- カ 修士論文又は共同研究報告書の作成に当たっては、研究指導を受けなければならない。

第十二 総合政策研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
特殊研究Ⅰ	四	
特殊研究Ⅱ	四	
上級学術研究Ⅰ	二	
上級学術研究Ⅱ	二	
上級学術研究Ⅲ	二	
上級学術研究Ⅳ	二	

二 研究及び履修方法

- ア 一年次五月末日までに研究計画書を、二年次以降各年次四月末日までに研究状況報告書をそれぞれ指導教授を経て研究科委員会に提出しなければならない。
- イ 博士論文作成に当たっては、指導教授の研究指導を受けなければならない。
- ウ 学生は指導教授の担当する特殊研究Ⅰ（一年次）、特殊研究Ⅱ（二年次）、合計八単位を履修しなければならない。

第十三 国際情報研究科修士課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
専門共通科目		
ベースライン		
研究の計画と遂行	二	
E L S I 研究法 I	二	
E L S I 研究法 II	二	
情報基盤研究法	二	
情報法研究法	二	
グローバル・コミュニケーション		
コミュニケーション特論 (1)	二	
コミュニケーション特論 (2)	二	
比較文明学特論	二	
哲学特論	二	
専門分野科目		
A I ・データサイエンス		
H C I 特論	二	
データマイニングと A I 特論	二	
並列・分散システム特論	二	
法律人工知能特論	二	
国際情報学実践研究 (1)	二	
社会デザイン・社会実装		
情報イノベーション学特論	二	
情報心理学特論	二	
インターネットの技術と文化特論	二	
情報セキュリティ特論	二	
デジタルジャーナリズム特論	二	
国際情報学実践研究 (2)	二	
情報法		
情報公法特論	二	
情報民事法特論	二	
情報刑事法特論	二	
プライバシー情報法特論	二	
ネットワーク情報法特論	二	
A I ・ロボット情報法特論	二	
国際情報学実践研究 (3)	二	
研究指導科目		
国際情報学研究指導 I		二
国際情報学研究指導 II		二
国際情報学研究指導 III		二
国際情報学研究指導 IV		二

二 履修方法

- ア 指導教授の指導により専門共通科目の研究の計画と遂行、E L S I 研究法 I、E L S I 研究法 II (各二単位) 合計六単位及び研究指導科目の国際情報学研究指導 I、II、III、IV (各二単位) 合計八単位を履修しなければならない。
- イ 別に定める履修方法に基づき、指導教授の指導により必要最低単位数三十単位 (修士論文の審査に代えて特定の課題についての研究の成果の審査を受ける者にあつては、四十単位) から前項アの十四単位を除いた単位を授業科目から選択履修しなければならない。
- ウ 他研究科の授業科目を履修する場合は、その授業科目の担当教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。
- エ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。
- オ 修士論文又は特定の課題についての研究の成果の作成に当たっては、研究指導を受けなければならない。

別表第四 (第四十五条の二第二項関係)

研究科名	専攻名	免許状の種類及び教科		
		中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状	
法学研究科	公法専攻	社 会	公 民	
	民法法専攻	社 会	公 民	
	刑事法専攻	社 会	公 民	
	国際企業関係法専攻	社 会	公 民	
	政治学専攻	社 会	地 理 歴 史 公 民	
経済学研究科	経済学専攻	社 会	地 理 歴 史 公 民	
商学研究科	商学専攻	社 会	商 業	
理工学研究科	数学専攻	数 学	数 学	
	物理学専攻	理 科	理 科	
	都市人間環境学専攻		工 業	
	精密工学専攻		工 業	
	電気電子情報通信工学専攻		工 業	
	応用化学専攻	理 科	理 科	
	ビジネスデータサイエンス専攻		情 報	
	情報工学専攻		情 報	
文学研究科	国文学専攻	国 語	国 語	
	英文学専攻	外国語(英 語)	外国語(英 語)	
	独文学専攻	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
	仏文学専攻	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
	中国言語文化専攻	外国語(中国語)	外国語(中国語)	
	日本史学専攻	社 会	地 理 歴 史	
	東洋史学専攻	社 会	地 理 歴 史	
	西洋史学専攻	社 会	地 理 歴 史	
	哲学専攻	社 会	公 民	
	社会学専攻	社 会	公 民	
	社会情報学専攻		情 報	
	教育学専攻	教育学専攻	国 語	国 語
			社 会	地 理 歴 史
			数 学	公 民
理 科			数 学	
英 語			理 科	
ド イ ツ 語			工 業	
フ ラ ン ス 語			商 業	
中 国 語	英 語			
		ド イ ツ 語		
		フ ラ ン ス 語		
		中 国 語		
		情 報		
	心理学専攻	社 会	公 民	
総合政策研究科	総合政策専攻	社 会	公 民	

別表第五（第四十九条関係）

（単位・円）

費 目	金 額
入 学 検 定 料	三五、〇〇〇
推 薦 入 学 検 定 料	三五、〇〇〇

別表第五の二

（単位・円）

費 目	金 額
審 査 料	五、〇〇〇

別表第六（第五十条第一項関係）

法学研究科、経済学研究科、商学研究科、理工学研究科、文学研究科、総合政策研究科及び国際情報研究科

（単位・円）

研究科	年度	費目	入学金	在学料	特別研究指導料		実験実習料	施設設備費
					博士課程前期課程・修士課程	博士課程後期課程		
法学・商学・文学研究科 経済学・経営学	令和六年度		二四〇、〇〇〇	五五九、六〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	—	一二八、三〇〇
	令和七年度		二四〇、〇〇〇	五五九、六〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	—	一二八、三〇〇
	令和八年度		二四〇、〇〇〇	五五九、六〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	—	一二八、三〇〇
	令和九年度		二四〇、〇〇〇	五五九、六〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	—	一二八、三〇〇
理学研究科	令和六年度		二四〇、〇〇〇	八〇六、八〇〇	—	—	七五、二〇〇	一八三、七〇〇
	令和七年度		二四〇、〇〇〇	八〇六、八〇〇	—	—	七五、二〇〇	一八三、七〇〇
	令和八年度		二四〇、〇〇〇	八〇六、八〇〇	—	—	七五、二〇〇	一八三、七〇〇
	令和九年度		二四〇、〇〇〇	八〇六、八〇〇	—	—	七五、二〇〇	一八三、七〇〇
総合政策研究科	令和六年度		二四〇、〇〇〇	六九九、九〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	四七、八〇〇	一六一、一〇〇
	令和七年度		二四〇、〇〇〇	六九九、九〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	四七、八〇〇	一六一、一〇〇
	令和八年度		二四〇、〇〇〇	六九九、九〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	四七、八〇〇	一六一、一〇〇
	令和九年度		二四〇、〇〇〇	六九九、九〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	四七、八〇〇	一六一、一〇〇
国際情報研究科	令和六年度		二四〇、〇〇〇	六九一、〇〇〇	—	—	三五、〇〇〇	一四五、〇〇〇
	令和七年度		二四〇、〇〇〇	六九一、〇〇〇	—	—	三五、〇〇〇	一四五、〇〇〇
	令和八年度		二四〇、〇〇〇	六九一、〇〇〇	—	—	三五、〇〇〇	一四五、〇〇〇
	令和九年度		二四〇、〇〇〇	六九一、〇〇〇	—	—	三五、〇〇〇	一四五、〇〇〇

（注）1 入学金は、二年目から不要である。

2 特別研究指導料は、社会人向けに実施する選考により法学研究科、経済学研究科又は総合政策研究科に入学した者が納入するものとする。ただし、標準修業年限を超えて在学する場合は必要としない。

別表第六の二（第五十七条の二第一項関係）

（単位・円）

費目	金額
審査料	一一、〇〇〇

別表第六の三（第五十七条の二第二項関係）

（単位・円）

研究科等	金額	
	法学・経済学・商学・理工学・文学・総合政策・国際情報研究科	
入学手続料	一〇、〇〇〇	
科目履修料	一単位	三一、〇〇〇
教職履修料	一八、〇〇〇	

別表第七（第五十九条関係）

（単位・円）

研究科等 費目	金額
聴講料	法学・経済学・商学・理工学・ 文学・総合政策・国際情報研究科 一単位 一五、〇〇〇